

■熊谷直実(次郎・蓮生) 武将, 僧。愚直で廉恥を重んじる坂東武者の典型, 武士を捨て念仏僧に。逸話が, 能「敦盛」に。

くまがいなおざね

崇徳天皇讓位1141= 武蔵国大里郡熊谷郷で, 熊谷直貞の次男に生まれる。母は久下直光の妹。幼名を弓矢丸, 通称次郎。  
.....1142= 1歳: 父を失い, 兄直正とともに, 母方の伯父久下直光のもとで長らく養育される。

熊谷氏は桓武平氏・平貞盛の孫維時の六代の孫を称するが, 武蔵七党の私市党, 丹波党の分かれともされる。直実の祖父盛方が勅勘をうけたのち, 父直貞の時代から大里郡熊谷郷の領主となり, 熊谷を名乗った。

頼長氏長者・1150= 9歳:

頼長内覧停止1155=14歳: 元服し, 熊谷次郎直実と名乗る。  
保元の乱・1156=15歳: 源義朝に従い, 保元の乱で初陣。

平治の乱・1159=18歳: 平治の乱では, 源義平に属して出陣, 平重盛に敗れる。

清盛太政大臣1167=26歳:

巖島神社・1168=27歳:

後白河出家・1169=28歳: 長男直家が誕生。伯父久下直光の代理人として京都大番役勤仕のため上洛した際, ともに上洛した武蔵国の傍輩から一人前の武士として扱われないことに不満を持ち, 自立を決意し直光の元を去って, 平知盛に仕える。以後, 平家側に属し, 源家勢力が衰退すると, 一族とともに平氏家人となる。これに恨みをいだいた直光によって, その後しばしば本領熊谷郷を侵略されることとなる。

鹿ヶ谷事件・1177=36歳:

源氏一斉蜂起1180=39歳: \*大庭景親に従って東国に下った直後, 源頼朝が挙兵すると, 平家方の大庭景親に属して石橋山に出陣し, 頼朝を安房に敗走させたが, 間もなく頼朝に従い, 常陸国の佐竹氏征伐で大功を立て, 頼朝から, “東国一の武将”と賞賛されて, 御家人となり,

.....1182=41歳: 直光の押領を停止し, 本領熊谷郷地頭職を安堵する旨の下文を賜る。

後鳥羽天皇・1183=42歳:

.....1184=43歳: 年末から続く木曾義仲および平氏追討の戦いには, 子息直家を伴って出陣し, 多くの勲功をあげ, 一ノ谷の戦いでは, 平山季重との先陣争いや, 無冠大夫敦盛を討ったことなどは, 「平家物語」に語られる有名な物語として, 後世多くの戯曲に取り上げられている。これ以後, 深く思うところがあり, 仏門に帰依する思いはいつそう強くなったというが, それ以上に, 頑なな性格から上下と衝突することが多く,

平氏滅亡・1185=44歳:

九条兼実摂政1186=45歳:

藤原秀衡没・1187=46歳: 鶴岡八幡宮で流鏑馬が行われた際, 頼朝からの立役を命じられたにもかかわらず, 同格であるべき御家人の間で騎馬の射手役と歩行的立役の区別のあることを不満として拒否したため, 頼朝の勘気を被り所領の一部を没収され,

奥州藤原滅亡1189=48歳:

また頼朝の命にもかかわらず, 伯父直光の所領押領が止まないため,

鎌倉幕府始・1192=51歳: \*頼朝の裁きを得るべく, 御前で直光と対決するが, 口下手で, 駆け引きせず, 逆に頼朝の不審を受けて憤慨し, 武士を辞めると言い出し, 頼朝に止められるも拒否し, 家督を嫡子直家に譲って, そのまま逐電,

.....1193=52歳:

京都に赴き, 金戒光明寺で, 法然に出会って出家, 法力房蓮生の法名を与えられ, 後に蓮池院熊谷堂となる庵に住する。出家後間もなく, 美作国久米南条稲岡庄の法然生誕地に誕生寺を建立したのを皮切りに, 豊岡市日高町に熊谷山蓮生寺, 長野市に熊谷山仏導寺・熊谷山蓮生寺の開基となり,

東大寺再建完1195=54歳:

京から下って, 鎌倉に着くなり, 泣いて懐かしんで頼朝と対面し, 仏法と兵法の故実を語り, 周囲を感嘆させる。武蔵国へ下向するため退出する際, 頼朝にしきりに引き留められている。東海道藤枝宿に熊谷山蓮生寺を建立して, 京都に戻り,

.....1197=56歳:

京都錦小路東洞院西の父直の旧地に法然を開山と仰ぎ, 御影を安置して法然寺を建立したほか, 報国山光明寺, 熊谷山宝樹寺,

.....1198=57歳:

法然を開山として, 念仏三昧堂を建てたのが始まりの粟生の西山浄土宗総本山山光明寺など, \*数多くの寺院を開基した後, 本領の熊谷郷に帰り, 以後, 庵(後の熊谷寺)で, 念仏三昧の生活を送っていたが,

源頼朝没・1199=58歳:

執権政治始・1203=62歳:

源頼家暗殺・1204=63歳:

死期を悟ったのか, 上品上生し, 早く仏と成り, この世に再び還り来て, 有縁の者, 無縁の者問わず救い

.....1206=65歳:

弔いたいと, 阿弥陀仏に誓う「蓮生誓願状」をしたため, 極楽浄土に生まれると予告する高札を武蔵村岡の市に立て,

.....1207=66歳:

\*再び高札を立て, その春の予告往生は果たせなかったが, さらに高札を立てて, 京都東山で衆目の中, 没したという。1208没説あり。

法然は蓮生に1日6万遍の念仏を勧めており, 蓮生はそれを守り通したとされる。頼朝の妻北条政子とは昵懇で, 書簡等を取り交わしている。